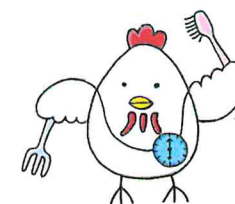


# 第2回学校関係者評価委員会

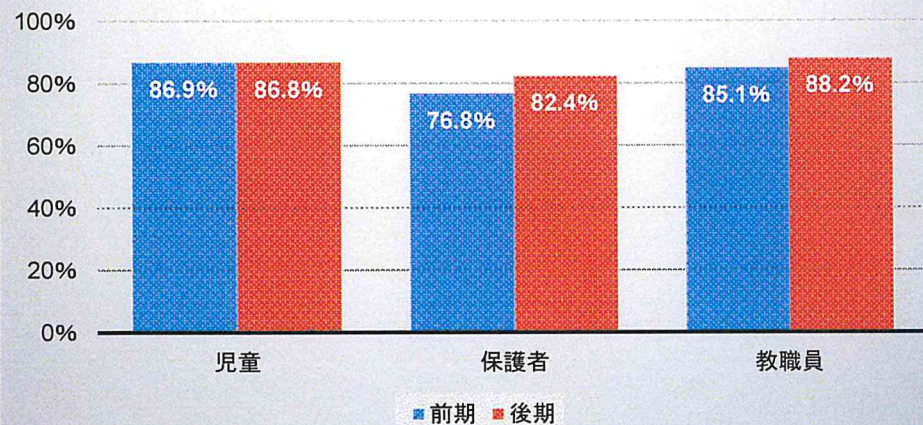
(学校評価：前期・後期の比較【結果及び考察】)



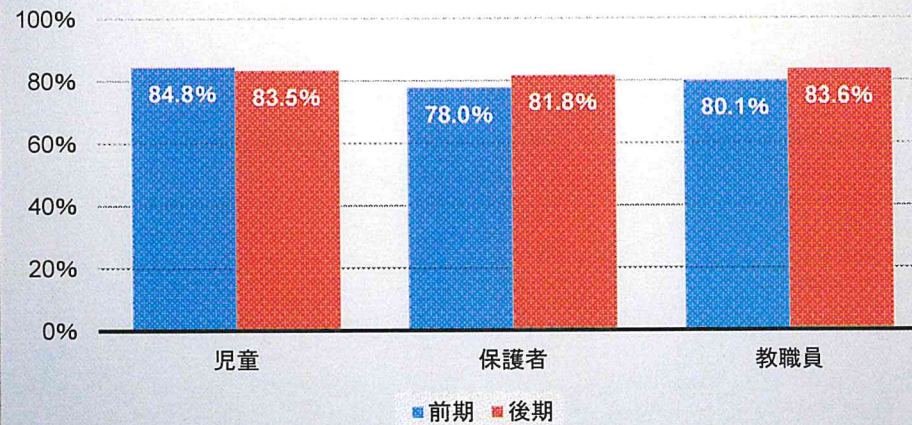
令和7年2月26日(水) 14:30 (於：校長室)

八幡浜市立川之石小学校

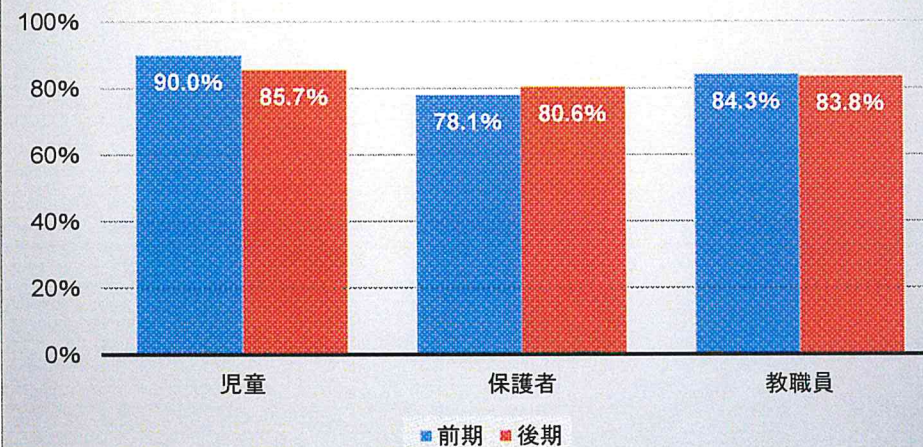
### 校訓「強く」到達度



### 校訓「正しく」到達度



### 校訓「美しく」到達度



				後期下がった	後期上がった			
校 訓	対 象	設問項目	前 期		後 期			
			平 均	到達度	平 均	到達度		
【強く】	保護者 (/4)	1 お子さんは、よい生活習慣が身に付いている。	3.12	78.00%	76.82%	3.42	85.50%	82.43%
		2 お子さんは、よい食習慣が身に付いている。	2.80	70.00%		3.03	75.75%	
		3 お子さんは、外で遊んだり、課外活動の体力づくりに取り組んだりしている。	3.12	78.00%		3.33	83.25%	
		4 お子さんは、自分で健康や安全に気を付けている。	2.83	70.75%		3.12	78.00%	
		5 お子さんは、学校の活動や行事に進んで取り組んでいる。	3.37	84.25%		3.52	88.00%	
		6 お子さんは、何事も最後まで諦めないで取り組んでいる。	2.95	73.75%		3.18	79.50%	
		7 学校は、子どもの健康・安全を大切に、安心な環境づくりに努めている。	3.32	83.00%		3.48	87.00%	
	教職員 (/4)	1 よい生活習慣が身に付くように指導した。	3.58	89.50%	85.14%	3.50	87.50%	88.21%
		2 よい食習慣が身に付くように指導した。	3.42	85.50%		3.60	90.00%	
		3 外遊び・課外活動の体力づくりへの指導を行った。	3.25	81.25%		3.60	90.00%	
		4 児童は、健康安全に関する意識や態度が向上した。	3.17	79.25%		3.20	80.00%	
		5 児童に学校の活動や行事に進んで取り組むよう指導した。	3.58	89.50%		3.90	97.50%	
		6 児童は、何事も最後まで諦めない意識や態度が向上している。	3.17	79.25%		3.00	75.00%	
		7 安全・安心な学校環境づくりに取り組むことができた。	3.67	91.75%		3.90	97.50%	
	児童 (/4)	1 早ね・早おきがまもれた。	3.28	82.00%	86.88%	3.22	80.50%	86.79%
		2 すききらいなくなんでも食べた。	3.35	83.75%		3.30	82.50%	
		3 外で元気(げんき)よくあそんだ。	3.55	88.75%		3.65	91.25%	
		4 自分からすすんで健康(けんこう)や安全(あんぜん)に気がつけた。	3.57	89.25%		3.62	90.50%	
		5 はりきって学校の活動(かつどう)にとりくんだ。	3.58	89.50%		3.60	90.00%	
		6 どんなこともあきらめずに最後まで(さいご)までがんばった。	3.52	88.00%		3.44	86.00%	
	結果と考察	保護者	○すべての項目で到達度がアップしており、さらに4つの項目で80%を（その他の項目も75%は）超えているので、家庭での意識的な関わりや学校での取組の成果であると考えます。 ●どの項目も90%は超えていないので、児童の健全育成に向けて、今後も継続して取り組んでいく。					
○ 成果 ● 課題		教職員	○全体の到達度が90%近く、さらに4つの項目で到達度が90%を超えており、児童の健全育成に関するこれまでの取組の成果が表れている。 ●「何事も最後まで諦めない意識や態度が向上している」の項目については、到達度が75%なので、向上させることができるような手立てを考える必要がある。					
児童		○3つの項目については、到達度が前期よりも上がり、さらに90%を超えているので、家庭と協力しながら取り組んできた成果が表れている。 ●「早寝・早起き」「すききらいなく」の項目は、到達度が下がり、しかも80%ほどなので、健康な生活をするために必要なことだということを意識付けていく必要がある。						

校訓	対象	設問項目	前期		後期			
			平均	到達度	平均	到達度		
【正しく】	保護者 (/4)	8 お子さんは、よい学習習慣が身に付いている。	2.93	73.25%	78.00%	3.21	80.25%	81.75%
		9 お子さんは、きちんと話を聞く態度が身に付いている。	3.02	75.50%		3.15	78.75%	
		10 お子さんは、学習したことを生かそうする様子が見られる。	2.88	72.00%		3.18	79.50%	
		11 お子さんは、自分を表現する力が身に付いている。	2.90	72.50%		3.09	77.25%	
		12 お子さんは、授業に前向きに取り組んでいる。	3.37	84.25%		3.39	84.75%	
		13 学校の教職員は、子ども一人一人にしっかりと目を向けている。	3.37	84.25%		3.42	85.50%	
	14 学校の教職員は、子どもたちがよく分かる授業づくりに努めている。	3.37	84.25%	3.45	86.25%			
	教職員 (/4)	8 よい学習習慣が身に付くように指導した。	3.50	87.50%	80.07%	3.70	92.50%	83.57%
		9 児童は、話を聞く意識や態度が向上している。	3.08	77.00%		3.10	77.50%	
		10 児童は、学習したことを活用する意識や態度が向上している。	2.91	72.75%		3.10	77.50%	
		11 児童は、表現する意識や態度が向上している。	3.00	75.00%		3.20	80.00%	
		12 児童は、前向きに授業に臨む意識や態度が向上している。	3.33	83.25%		3.40	85.00%	
		13 個に応じた学習指導をした。	3.60	90.00%		3.70	92.50%	
	14 学習内容を児童がよく理解している。	3.00	75.00%	3.20	80.00%			
	児童 (/4)	7 学習(がくしゅう)のきまりをきちんとまもっている。	3.53	88.25%	84.79%	3.49	87.25%	83.50%
		8 先生や友だちの話をきちんと考え(かんがえ)ながら聞いている。	3.39	84.75%		3.40	85.00%	
		9 習った(ならった)ことをつかって新しい(あたらしい)ことを学習(がくしゅう)している。	3.49	87.25%		3.28	82.00%	
		10 自分の考え(かんがえ)をすすんで発表(はっぴょう)している。	3.48	87.00%		3.09	77.25%	
11 どの授業(じゅぎょう)も楽しみ(たのしみ)にしている。		3.37	84.25%	3.31		82.75%		
12 授業(じゅぎょう)がよくわかる。		3.09	77.25%	3.47		86.75%		
結果と考察	保護者	<p>○すべての項目において前期より到達度がアップしているので、学校の取組の成果であると考え。</p> <p>○学習面に関しての項目では、数値が大幅に増えているものも多く、普段の基礎基本に対する地道な取組や、学芸会などの行事を通じた活動の成果の表れである。</p> <p>●前期よりはアップしたが80%に達していない項目があるので、取り組み方を検討しながら、今後も向上を図る。</p>						
	○ 成果 ● 課題	教職員	<p>○すべての項目において前期より到達度がアップしているので、様々な取組の成果を実感していることの流れである。</p> <p>○学習指導に関する項目は到達度が90%を超えており、満足している様子がうかがえる。</p> <p>●「話を聞く」「学習したことを活用する」項目に関しては、80%に達していないので、意識や態度が向上するよう継続して取り組む必要がある。</p>					
	児童	<p>○「授業がよく分かる」の項目が、約10%アップしているので、授業改善の効果が表れている。</p> <p>●4項目において到達度が下がっているので、授業がマンネリ化していることが考えられるので、改善策等を検討する必要がある。</p> <p>●「自分の考えをすすんで発表している」の項目は、到達度が10%近く下がっているため、発表しやすい場づくりを含めた授業形態等を改善していく必要がある。</p>						

				後期下がった	後期上がった			
校訓	対象	設問項目	前期		後期			
			平均	到達度	平均	到達度		
【美しく】	保護者 (/4)	15 お子さんは、自分に自信を持ち、自分を大切にしている。	2.98	74.50%	78.14%	3.15	78.75%	80.57%
		16 お子さんは、他人を認め、大切にしようとする気持ちや態度が育っている。	3.34	83.50%		3.42	85.50%	
		17 お子さんは、決まりを大切に、守ろうとする気持ちや態度が育っている。	3.34	83.50%		3.48	87.00%	
		18 お子さんは、心のもった挨拶や正しい言葉遣いができている。	3.20	80.00%		3.21	80.25%	
		19 お子さんは、自分に対する厳しい気持ちや態度が育っている。	2.60	65.00%		2.85	71.25%	
		20 子どもの健全育成に向けて、学校と家庭は連携している。	3.15	78.75%		3.21	80.25%	
		21 教職員は、いじめのない学校づくりに努めている。	3.27	81.75%		3.24	81.00%	
	教職員 (/4)	15 児童は、自分に自信を持ち、自分を大切にしている。	3.36	84.00%	84.31%	3.10	77.50%	83.75%
		16 児童は、他人を認め、大切にしようとする意識・態度が向上している。	3.17	79.25%		3.40	85.00%	
		17 決まりを守る意識・態度が向上するように指導をした。	3.42	85.50%		3.50	87.50%	
		18 挨拶・言葉遣いが正しく身に付くように指導した。	3.50	87.50%		3.80	95.00%	
		19 児童は、自分に対する厳しい意識・態度が向上している。	2.73	68.25%		2.60	65.00%	
		20 児童の健全育成のため、家庭と連携して取り組むことができた。	3.50	87.50%		3.10	77.50%	
		21 学校の教育目標を意識しながら教育活動を展開することができた。	3.55	88.75%		3.60	90.00%	
		22 いじめのない学校(学級)づくりに取り組むことができた。	3.75	93.75%		3.70	92.50%	
	児童 (/4)	13 自分は、いろいろなことができるようになった。	3.78	94.50%	90.00%	2.98	74.50%	85.67%
		14 まわりの人も、いろいろなことができるようになった。	3.49	87.25%		3.80	95.00%	
		15 きめられたことはなんでもきちんと守った(まもった)。	3.51	87.75%		3.47	86.75%	
		16 自分が「かがやく」こと(よいところ)をのぼすことができた。	3.55	88.75%		3.53	88.25%	
		17 正しいことばづかいやあいさつができる。	3.48	87.00%		3.38	84.50%	
		18 まちがったことをしたら、正直(しょうじき)に言ったり、あやまったりできる。	3.79	94.75%		3.40	85.00%	
	結果と考察	保護者	○全体的な到達度は80%を超え、さらに6つの項目で到達度が前期よりアップしているため、2学期以降の学校の様々な取組を評価していただいていることの表れと考える。 ●「いじめのない学校づくり」の項目については、到達度は80%を超えているが、前期よりは下がっているため、安心して学校生活を送ることができるようにする。					
○ 成果 ● 課題		教職員	○到達度が90%を超えている項目が3つに増えたため、指導内容について、ある程度満足していると考え。 ●全体及び4つの項目で到達度が下がっているため、取り組み方を改善する必要があると考えていることもうかがえる。 ●「家庭と連携して取り組むことができた」の項目では、10ポイント下がっているため、児童の健全育成のために、連携方法について再検討し、取り組まなければならない。					
児童		○「まわりの人も、いろいろなことができるようになった」の項目では、10ポイント近く上がっているため、友達に対して温かく見守ることができるようになったと考える。 ●5つの項目において到達度が下がっているため、児童が「できるようになった」と実感できるような取り組みを考えなければならない。 ●「いろいろなことができるようになった」の項目は20ポイント下がっており、自己肯定感・有用感を高める取り組みを実施する。						

校訓	対象	設問項目	前期		後期	
			平均	到達度	平均	到達度
ほか	保護者 (/4)	22 お子さんは、学校に行くのが楽しいと感じている。	3.46	86.50%	3.58	89.50%
		23 保護者は学校に行きやすい。	3.22	80.50%	3.24	81.00%
		24 子どもを育てるに関して、学校・家庭・地域が役割分担している。	3.22	80.50%	3.21	80.25%
	教職員 (/4)	23 学校・家庭・地域が役割分担して子どもたちを育てている。	3.17	79.25%	3.40	85.00%
		24 学校は、業務改善が進んでいる。	3.27	81.75%	3.11	77.75%
		25 教育活動全般(校務など)必要に応じて、共同体制がとれている。	3.67	91.75%	3.50	87.50%
		26 業務に対してやりがいや充実感を感じている。	3.33	83.25%	3.50	87.50%
	児童 (/4)	19 学校のことや自分のこと、おうちのことなどで気になることがある。	1.43	35.75%	1.44	36.00%
結果と考察	<p>○前期より多く（90%近く）の保護者が、「子どもたちは学校に行くのが楽しい」と感じており、学校の様々な取組や教職員の関わり方等の成果と考へ、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>○保護者も教職員も80%以上が、「学校・家庭・地域が役割分担して子どもたちを育てることが出来ている」と感じているので、今後も連携を図る機会を持ち、役割分担しながら児童の成長を見守っていくつもりである。</p> <p>●「学校・自分・おうちのことなどで気になることがある」と答えた児童が、わずかではあるが前期より増えており、不安を感じる場面があると思われるため、児童の様子に気を配ったり、教育相談を行ったりしながら、今後も不安の解消に努めていく。</p> <p>●教職員の業務改善や共同体制に関しては、検討・改善していく必要がある。</p>					

【保護者の自由記述に対する回答】

- 御校は、校長先生をはじめ各先生が生徒に対し、丁寧に真摯に温かく向き合ってくれていると感じます。そのおかげで、我が子も毎日の学校や児童クラブを心から楽しみにしております。親として、嬉しい限りで、先生方々には感謝の念が尽きません。お忙しいと思いますが、今後ともよろしくお願い致します。
- 学校と保護者間や校区内の施設で連携がとれていて、川之石は子育てがしやすい。
- 子供たちの興味のある事を取り入れて、体力作りの機会を作ってもらえて、ありがたいです。  
→ うれしいお言葉、ありがとうございます。今後も、児童の健全育成に尽力いたします。御協力、よろしく願いいたします。
- 宿題などが子供の言ってることと計画帳に書かれていることが違うため親が非常にわかりにくい。  
→ 宿題の内容を分かりやすく伝え、計画帳に書いている内容との違いがないように努めます。
- 上級生からの下級生を揶揄することがあるが、その後の話し合いの内容などが親には連絡がないためどうなったのかわからない、学校側だけで解決してしまうことが問題ではないか。  
→ 児童同士のトラブル等があった場合、児童に指導した内容等については保護者の方に連絡しているつもりですが、十分ではなかったようなので、今後気を付けてお伝えするようにします。
- ノートなど決められたマス目の物を探すことが多いので、学校で購入できるようにしてもらいたい。難しければ、販売されているもので統一してもらいたい。  
→ 学校での購入に関しては考えておりません。申し訳ありませんが御家庭で購入していただきたいと思います。その際に、購入できるお店等の情報提供はさせていただきます。

○ 通級を保内にも設置してほしい

→ 現在、喜須来小学校に設置しております。必要であれば、御検討ください。

○ 子供たちの訴えに耳を傾けてください。一部教科の授業がいやと伝えていたはずですが、もう少し早く対応していただきたいと思います。

→ 対応が遅くなり申し訳ありませんでした。教師の子供たちへの思い（指導）と児童の受け止め方に大きなずれが生じていたようです。児童が安心して授業を受けることができるよう、時間の空いている教員が入るよう対応を取りました。安心して授業を受けることができる状況を継続していきます。

○ 夏休みのプール開放について。市内の別の学校では、保護者の負担や子どもの熱中症のリスクを懸念して中止している学校もある。夏の暑さはもちろん、川之石小は共働きの家庭が多く、プール監視のために休みを取るのも容易ではないと思うので、一度見直してもいいと思う。

→ 次年度のPTA役員会及び総会で検討します。

○ 学芸会では同伴した未就学児が音を出してスマホの動画視聴やゲームをしていたり、声を上げてたりしていて、そういう方が近くの席だと集中して観覧ができなかった。また参観日では授業中であるにもかかわらず、保護者同士の私語が気になる時があった（これに関しては他の保護者だけではなく、子どもからも親がうるさいとの声があった）。こういう場合は保護者間で対応するより、先生の方から注意してもらえるとありがたいです。

→ 気が付かずに申し訳ありませんでした。見回りをしながら注意するとともに、事前に配付する文書にて、気を付けていただくようお願いいたします。

※ 児童に関することで、お気づきの点がございましたら、いつでも御連絡ください。今後も、児童の健やかな成長のため、御協力よろしくお願いたします。